

# 普及やいま

第151号

発行

八重山農林水産振興センター  
農業改良普及課沖縄県石垣市真栄里438-1  
Tel 0980-82-3497 Fax 82-4142

与那国駐在

Tel 0980-87-2354(代)

## 八重山から 指導農業士 3名 認定!



前列左から伊志嶺氏、西大舛氏、松原氏。

那覇市で開催予定だった「令和2年度沖縄県農業士等認定式」が新型コロナウイルスの感染拡大により中止となり、八重山地区で認定式を開催しました。八重山地区から指導農業士**3名**が誕生し、青年農業士**4名**、指導農業士**26名**、女性農業士**9名**、計**39名**となりました。

認定式後は、新農業士と八重山地区農業士等連絡協議会役員で交流を深めました。



**伊志嶺 雅也氏**  
(指導農業士)  
(石垣市:  
果樹・さとうきび)

2010年就農。

JA八重山青壮年部に所属し、JA九州沖縄地区青年大会およびJAおきなわ青壮年大会の1分間PR動画で複数回受賞するなど、指導農業士として地域の青年農業者、新規就農者への指導力の発揮が期待される。



**西大舛 高均氏**  
(指導農業士)  
(竹富町西表島:  
さとうきび・水稻・野菜)

1995年就農。

就農25年のベテランであり、農業生産法人の代表者である。経営の主品目であるさとうきびでは、これまで、沖縄県さとうきび競作会多量生産の部において1位3回、2位1回を受賞。水稻、カボチャについても大規模栽培で部長、副部長を歴任し、若手への指導も熱心である。



**松原 永政氏**  
(指導農業士)  
(与那国町:さとうきび)

2013年就農。

現在就農6年半になるが、就農5年目に当たる昨年度には沖縄県さとうきび競作会多量生産の部で1位になるなど、その農業技術は高水準にある。地域においては、青年農業者への育苗、施肥、機械等栽培技術に関する指導を行う等、地域農業の発展に貢献している。



# カボチャ栽培が始まります！



～きちんと準備しましょう～

## 定植準備

- ✓ 高畝による排水対策
- ✓ 植付前の深耕
- ✓ マルチの利用（肥料流亡防止&雑草管理の省力化）
- ✓ 敷草の株元処理（土はね防止で病害リスク減）

## 季節風対策

- ✓ 防風ネット、ソルゴーの利用  
（ウイルス病対策にもなります）

## 病害虫対策

- ✓ 農薬による予防散布の徹底
- ✓ 密植、過繁茂とならない栽培管理
- ✓ 周辺露地のウリ科野菜（植物）の除去  
（ウイルス病対策）



## 果実肥大管理

- ✓ 着果後、20日間で果実肥大の勝負！特に、肥大期においては、十分な灌水と追肥を行う
- ✓ ソフトボール大で、カボチャシートを敷く
- ✓ 日焼け防止による果実品質の向上

## 葉枯れ対策を行いましょーう ～令和元年度展示ほ結果より～

◎殺菌剤（銅剤：細菌病）を**発病前から予防的に定期散布**することで、栽培後期の下葉の枯れ上がりが軽減されます。（\*供試品種：こぶき）

Zボルドー、イデクリーン等

- 1回目**：本葉5枚～8枚展開時
- 2回目**：蔓が伸びて着果するまでの間
- 3回目以降**：着果20日程度あとかから、降雨前に2週間おきに定期散布



2018年作（2月）

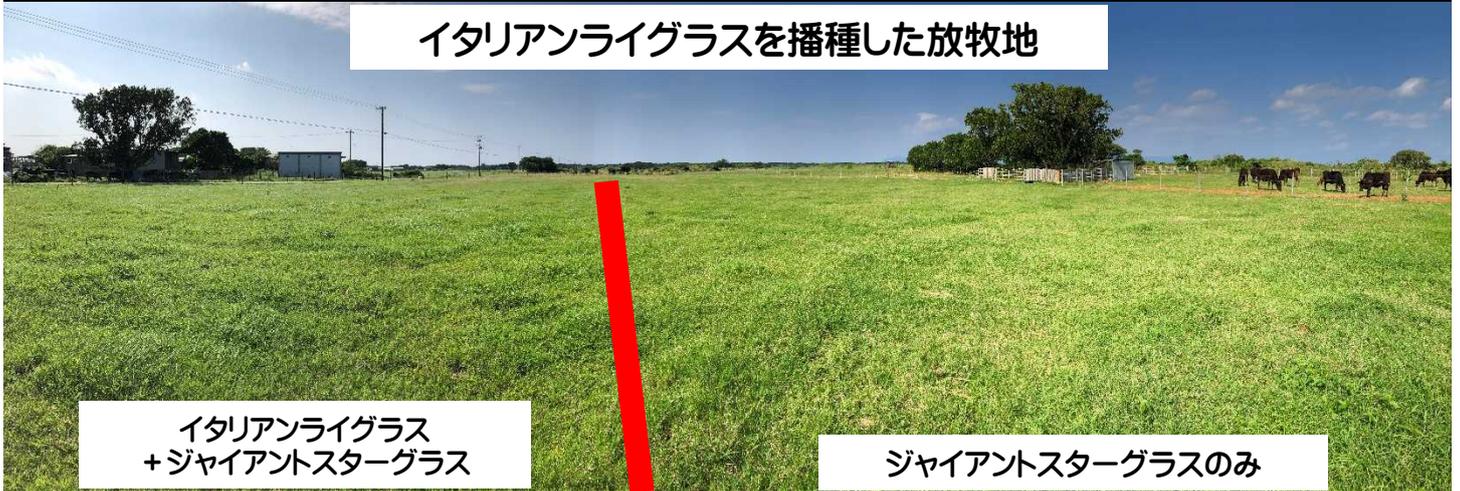
2019年作（2月）

◎うどんこ病対策も同様に、予防散布を行いましょーう！（担当 安次富）

# 寒地型牧草のすすめ in 八重山

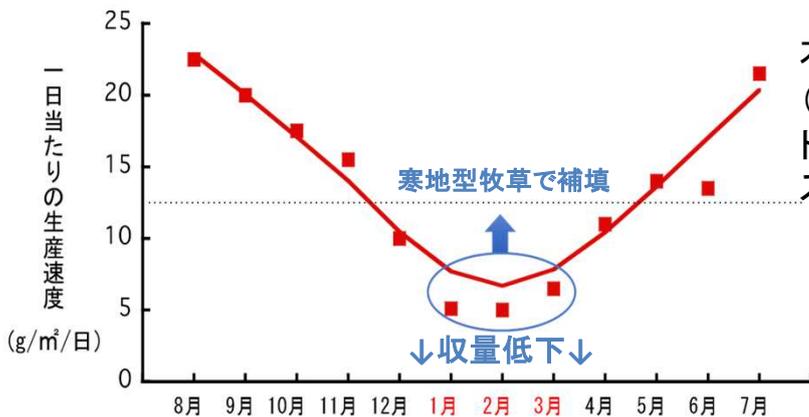
寒地型牧草は北海道～九州地方の比較的冷涼な地域で生育します(生育適温:10～20℃)。  
代表例:イタリアンライグラス、エンバク、チモシー、アルファルファなど

## イタリアンライグラスを播種した放牧地



イタリアンライグラス  
+ ジャイアントスターグラス

ジャイアントスターグラスのみ

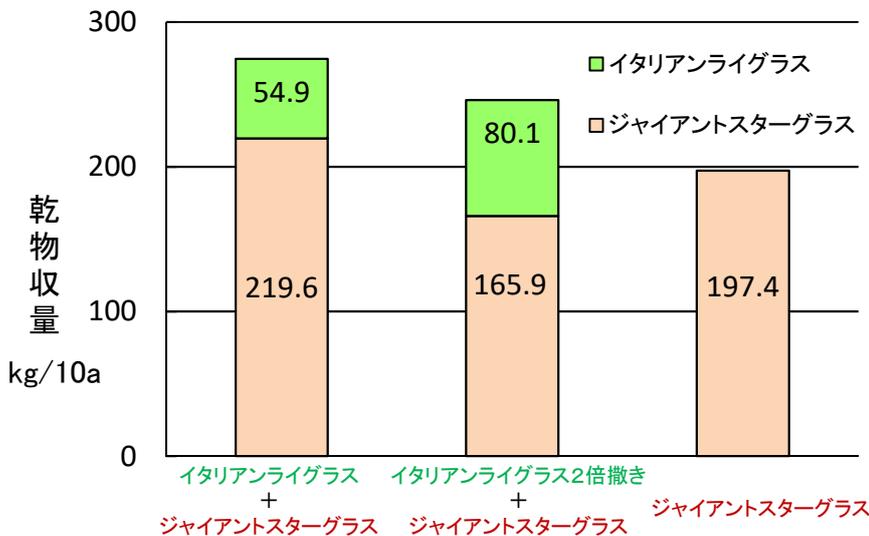


本県で栽培されている暖地型牧草  
(代表例:ギニアグラス、ローズグラス、  
トランスバーラ、ジャイアントスターグ  
ラスなど)



冬季の気温低下により**収量低下**

○イタリアンライグラスは11～12月にかけて播種することで、暖地型牧草であるジャイアントスターグラスのみの草地よりも収量が高くなりました。



黒島の放牧地における寒地型牧草の収量比較(普及課, 2018)  
(播種日:2018/11/29, 収穫日:2019/2/6, 栽培期間:70日)

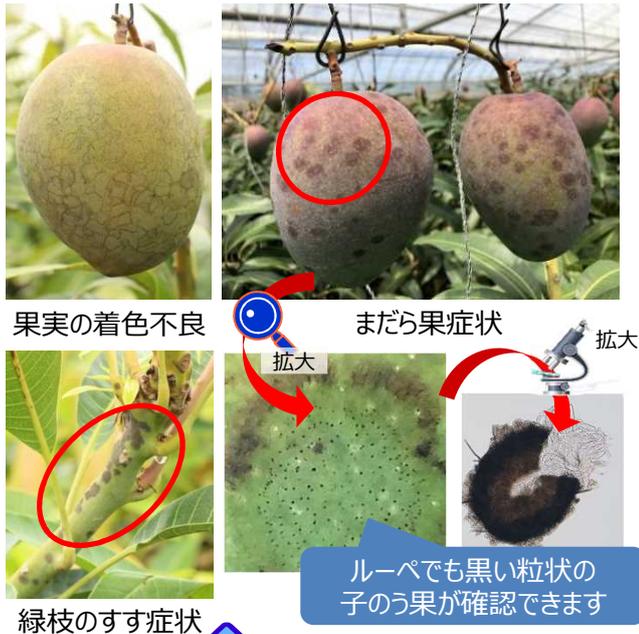
○黒島では、採草地・放牧地ともに利用できます。播種と施肥は同時に行い、播種後に鎮圧を行うことで発芽しやすくなります。採草地では播種後2回の収穫が可能です。また、放牧地では牛の糞尿から出る窒素量を考慮して施肥し、栽培期間を設けた後に放牧します。生育状況は年次変動があり、播種適期については今年度、展示圃で検証中です。

(担当:長坂)

# 次作に向けたマンゴーのすす点病対策



近年、すす点病による果皮障害が増加しています。すす点病は20～25℃の多湿条件で急激に感染拡大するため、着果～肥大期に大雨が続くと多発する傾向にあります。発生ほ場では、この時期の換気や薬剤防除を徹底するとともに、密植にならないよう計画的な間伐を行い、日当たりや風通しを意識した枝作り、ハウス管理に努めましょう。また剪定残さは園地外に処分し、緑枝に症状が見られる場合は、炭そ病や軸腐病と併せて予防防除を行いましょう。(担当：山口)



## ○今後の主要病害のスケジュール防除例○

11～12月(新梢硬化～花芽分化期)  
 天敵なし：フジドーフロアブル または ICポルドー66D  
 天敵あり：ジマンダイセン水和剤

1～2月(出蕾期)  
 天敵なし：ジマンダイセン水和剤  
 天敵あり：オーソサイド水和剤

ジマンダイセンは  
天敵利用時は  
放飼60日前まで

3月(開花期)  
 オーソサイド水和剤→オーソサイド水和剤

4～5月(果実肥大期)  
 スミレックス水和剤→スミレックス水和剤→  
**トリフミン水和剤**→アミスター10フロアブル

同時  
防除  
薬剤を  
含む

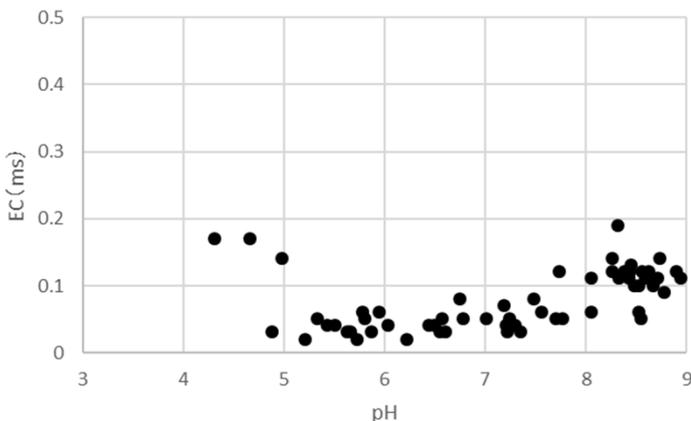
※ 青字：炭そ・軸腐病にもすす点病にも効果ありとみられる。  
 赤字：すす点病に効果あるが、炭そ・軸腐病には効果なし。



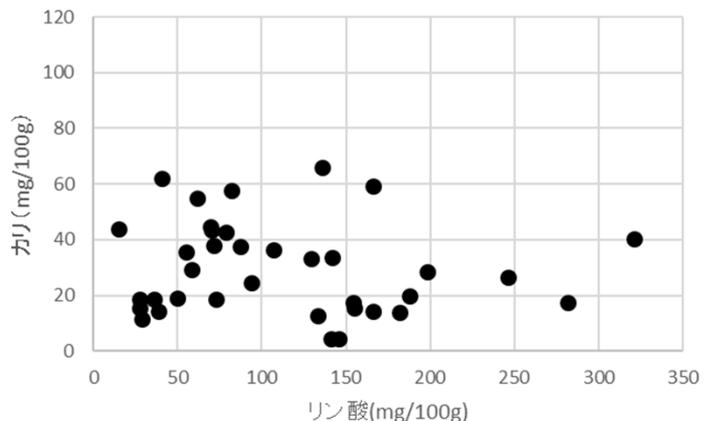
## 令和2年度土壌検診週間における土壌分析結果について

6月29日から始まった土壌分析週間における分析点数は、八重山地区で合計214点(石垣市143点、竹富町57点、与那国町14点)、作物別では、さとうきび59点、野菜56点、果樹75点、水稻14点、牧草2点、その他8点となりました。

さとうきび(平均値:pH 7.18、EC 0.08)



施設野菜(平均値:リン酸 122.0、カリ 33.0)



さとうきびはあまり土壌を選びませんが、pH5.5以下や8以上では、肥料成分の吸収が悪くなる場合があります。また施設野菜では、リン酸の過剰蓄積(100～150以上)が多く見られます。分析結果をもとに、土壌改良や施肥量の見直しを行いましょう。(担当:友寄)